

教育講演会

隣人を愛し 人間として互いに尊重を



編集発行 校部印刷
羽津北小学 P T A 阿竹印刷工業株

第 53 号
平成6年12月15日発行



十一月十三日(日)、授業参観に引き続いて、PTA主催の教育講演会が開催され、四日市朝鮮初中級学校の李章哲校長先生に「近くて遠い」と題して講演をしていただきました。

又、講演に先立って十一月十一日四日市文化会館で開催された三泗小音楽会に参加した曲を六年生のみなさんに合唱していただきました。(写真一面右下)。

近くて遠い

四日市朝鮮初中級学校 李 章哲 校長

羽津北小学校のみなさん。アンニョンハセヨ・こんにちは

今年になつて羽津北小PTAとオモニ会との料理教室も行われ、交流も盛んになりつつあります。

しかし、その反面全国の朝鮮学校の生徒たち、特にチマ・チヨリを着た女子生徒たちが狙われています。

四月十四日から七月初旬までに約百七十名が被害にあいました。鋭利なナイフやハサミでチマチヨリが切られたり、石やビール瓶を投げつけられたり、「朝鮮のばかあほ、なまいきに、帰れ！」等の暴言も受けました。

戦前、国を奪われチヨリに墨を浴びせられたその孫たちが戦後、日本の社会から疎外された在日朝鮮・韓国人の子弟たちが、現在も同じような差別を受けることに耐えがたいものがあります。

それでも生徒たちはチマチヨリを脱ぎたくしません。制服と言つよりは民族文化の伝統、民族

の心、身体の一部と言つて思いがあるからかも知れません。本校も創立して四十八年がたちました。

在日朝鮮・韓国人の社会も一世よりも一世々四世が大部分を占め、これからも民族(国籍)を守るんだ、いや(日本に)帰化するんだと言つ様々な意見もあります。そんな中で本校の歴史を振り返ると幾多の困難を乗り越えて、民族教育を守つて来たというのが素直な気持ちです。

三重県には一校しかなく、松阪や亀山から電車を乗り継いで通っています。

教育体系は六・三・三・四制で教科も日本の学校とほとんど変わりません。違いは外国語(朝鮮語)で授業している点です。もちろん日本語も学んでいます。「立派な朝鮮人を育てる・日本のみなさんとも仲良くなる」ということをモットーにしています。

いま一番の問題は、朝鮮学校が「各種学校」の資格ではないことです。

高体連の試合にはやつと参加することができましたが、朝鮮高校を卒業しても大学受験の資格が無く(公立十校、市立百一校では認めているが大半の国・公立大学は受験の門を閉ざしている)、各種資格の取得も難しいのが、現状です。

特に、同胞たちは日本のみならずと同じように税金を納めているのに、朝鮮学校への助成金は公立



加藤裕子先生の指揮のもと、熱唱する6年生のみなさん。

私立校に比べてあまりにも少額です。同胞たちには義務があつても権利がなく、父母達の教育費負担は増すばかりです。

今年「朝鮮学校への助成金増額を」と言つ署名運動が行われ、約四万人もの県民のみなさまに参加していただきました。

この署名にご協力下さつた赤尾会長をはじめ羽津北小学校の保護者のみなさまに書面を通じて感謝いたします。カムサハムニダ・ありがとうございました。

「近くて近い」関係になるためには政府間の交渉も必要と思えますが、一時期近くて遠い関係になつた歴史の教訓をお互いが認め合い、その上でこれからの事を考えていきたいと思います。そして何よりも、隣人を愛し人間として互いに尊重することのできる暖かい心を持つた子供たちを育てていく事が大事なことだと思えます。

羽津北小PTAの益々の御発展をこのころから祈念いたします。

運動会の思い出

9月25日



いんていあんのおむりのごんごころがたのしかたです。

一〇三 おか田 なち

でも、ちよつとあしがいたくなつちやつた。でも、たのしかつたから、がんばつてきいまでやつたよ。



わたいは、うんごう会の日、朝

二〇二 いなます みか

いすを出して、八はれのとときようそつでならんだとき、一はれになれますよつにと思つていました。自分のはれになると、少しごんごきしました。でも、おかあさんたちがおうえんしてくれたので一はれになれました。すいこうれしかつたです。

一十四日のあつ、手を合わせて

「おはななれまおはななれ」。

とねがいました。おはあちやんせ

おはかでそう言いました。

おかあさんは、

「それがきいたんごやない。」

と言いました。

たのしかつた運動会

三〇一 竹田 ゆづき

9月25日に運動会がありました。ぼくはウキウキしていたので心があちつきませんでした。運動会がはじまつたら、やつと心があちつきました。じゅんびたいそうをして、と次々にやつていつてかひしきがわかりました。そしてかけつごでいになったのでうれしかつたです。でも全校リレー、まけ

運動会の思い出

四〇一 内田 安南

たのでくやしかつたです。そしてからめさせアトランタでもまけたのでくやしかつたです。赤組の点数はさがつていくばかりです。1、2年生の時にかつていたのにな。そしてまけてくやしかつたです。でも楽しい運動会でした。

運動会で、一番心に残つたのはダンスです。ダンスに使う、ポンポンも早くでき上がつて、早くそれを使つておどりたかつたです。やつと、おどりを覚えた時、一番やりたくなかつた所があります。それは、「ささぶね」です。練習中も、がまんして、していました。ささぶねをやるには、外と中では、外の方がいいです。

もう、運動会の日が近づいて来ます。ダンスのしあげの時、川口先生が、「最後にヤアー」といいますよつと言います。初めは、一組の男子、次に私たちのばんの時、私は、「ヤアー」と言いました。でも言つてゐるのは、5人くらいで、少しはすかしかつたです。

そして、いよいよまぢにまつた運動会の日が来ました。ダンスの時、がんばつてささぶねを長い間つづけ、終わつてから、ほつとしました。そして、徒競争の時、一番に走るの少しきんちちうしました。また、大玉運びは、練習の時はずつと一位だつたけど、本番の時はずつと負けてしまいました。

修学旅行



十月六日、七日の二泊三日で、奈良・京都方面へ六年生六十九名が修学旅行に行つてきました。

二日間とも好天に恵まれ、大した事故やけがもなく、順調に日程をこなすことができました。

今年、奈良・京都間の移動をそれまでのバスから、電車に変更した分、時間的に余裕ができたので、奈良公園での別荘自由行動の時間をゆつくりと取る事ができました。事前に立てた計画にそつて、各班思い思いのびのびと見学をしていた姿が印象的でした。社会科で学習した物に、じかに接することができ、有意義な旅となりました。

昔の人はすごい

六一一 藤井 舞

私に心に残つた所は、奈良公園だ。何といつても、班別行動だ、いろんな所に行けるからだ。

まず、南大門を通つて大仏殿に行つた。南大門の左右にある金剛力士像は、本当に「あ」「うん」と



言つてゐるようだつた。南大門の前に、お香みだいなけむりを、こ

しとか体につけてゐるおばさんがいた。不思議だつたけど私もやつてみて、大仏殿に行つた。大仏は何回も見ることがあるけれど、何回見てもめちやくちやでかい!!あれで昔より縮んだなんて、昔の大仏はどんなものなんだろう。鼻の大ききの穴も通つたけど、あんな鼻の穴だつたら、かくれることができるだろうな。手のひらの上で寝ることもできそうだな。よくあんな大きい大仏を作れたな。昔の人はすごいな。本当に、世界一大きい木造建築物といつただけあるなと思つた。

しんごう張りの二條城

六一二 谷口 裕規

一條城に行くときすいこく楽しみだつた。なぜかと言つて、うへへ



す張りを通つて、うへへすの声を聞きたいと、思つたからだ。一條城に入つて、すいこく張りがあつたと音がした。ぼくは、うるさい音やなと、思つてゐた。そしたら向こうの方から、

「これがしんごう張りのか。」

と言つた音が聞こえてきた。ぼくは、「えーこれがしんごう張りのなにか。」と大声でさけんでしまつた。ぼくは、この、「キョッキョッキ」と

言つた音は、床が、きしむ音だと思つてゐた。それについでには、「ホーホケキョッキ」と、鳴くと

思つてゐた。なのにへんだなと思つてゐた。

次に、將軍と家来がすわつてゐる部屋を見た。將軍がすわつてゐる所と家来がすわつてゐる所は、全然違つた。將軍の上の天井は、とても高く、らんまもつてゐる。

ぼくは、將軍と家来の身分の違いが、はつきりわかつた。

10月26・27日 少年自然の家にて

自然教室



すいこくわけて 泣いた ナイトハイキング

五年一組 小林 優子

七時十分はナイトハイキングに出発しました。暗くてこわくて、

十月二十六日・二十

七日に、水沢の少年自然の家で、五年生の自然教室が行われました。

今年、瀬戸用水の

トンネルくぐりやナイ

トハイキングなどの新

しい活動を取り入れま

した。また、友達との

助け合いやふれあいを

重視した活動として、

飯盒炊さんやウオーク

ラリーも計画しました。



自然とのふれあい

五年二組 大畑 和美

ウォークラリーに出発するとき、私は、「道に迷わんかな。だいたいよぶかな。」と思つてゐました。それは、がつこつでの練習でちがう道を来たからです。

いろんな問題をして、最後に池の所でゴリラの形の山が見えて、よかつたと思つてゐました。

私は、この自然教室が、とても楽しかつたです。野生の動物は見えなかつたけど、楽しい自然教室の中で、自然にふれあえたのはよかつたと思つてゐました。とても心に残りました。

そして、この四日市市にも、もつと自然があつたらいいのにな、と思つてゐました。私は、自然がどんな心えてゐたら、とても空気がもよくなるし、いろんな動物も来るようになつて、もつともつといい町にできるんだと思つてゐました。

最初、先生が入つた。そしたら先生が、「かなりつめたい。」と言つた。だからぼくは、どのくらいつめたいのかなと思つた。ついにぼくの番がきた。入つたら足がこおりそうにつめたかつた。でもそんなこと言つてゐるひまはない。前の人はどんどん進んでいく。マンポの中はすいこく暗そうだ。

中に入つてみると、かいて中電灯なしではさきに進めないくらい真つ暗やみだつた。それに頭をうちそうなくらい低かつた。

もう少しいつたら光が見えたからみんなが、「もう少した。」と言つた。

外に出たら光がまぶしかつた。上へつにはごころが石とかいろいろまぎつて気持ち悪い。

マンポくぐりが終わつて、くつ下をはいたらあたたかかつた。



とても楽しかったね 料理教室

文教部長 西川 祐子

今回は朝鮮学校のオモニ会のお母さん達に参加してもらい、ステキな歌声も聞かせていただき、本当に明るく楽しい料理教室を開催することができました。

おいしくできあがった料理を食べながら、お話をしていくなかで、今までわからなかった多くの事を知ることができ、本当によかったです。と思います。

今回の料理教室での交流をとおして、お互いが同じ人間として尊重しあわなければならないことを痛感しました。様々な差別がある社会の中で、思いやりのある親であり、子供達であってほしいと思います。

これからも皆様の協力によって交流の輪が広がっていくことを心から願っています。



暑いなか、草取り作業をするみなさん

校庭清掃

環境整備部長 久志本 忠典

秋も終わりに近づき、今年もあとわずかとなりました。

この夏の記録的な暑さの中、恒例の校内草取り作業を皆様にお願い致しました。予定通り進むかと心配しましたが、天候にも恵まれ皆様の積極的な参加で余す所なく、草取りが出来、美しくなりました。御苦労様でした。

今春に会長よりグラウンド内の排水路の砂を取り除くよう依頼されました。当初、普通のU字溝と想っていました。酷暑の七月にこの作業は大変と思い、コンボ一台、軽ダンブ一台を借り、大勢の有志の方にお願いで早朝より昼まで作業しました。本当に暑い中、一生懸命がんばっていただき、大量の砂が取除かれました。皆様のおかげと

安全標柱設置

安全部長 今市 脩

本年度の安全部活動計画の一環として、PTAの皆様の御協力を得て安全部員による危険箇所の点検調査を一学期に行いました。その結果、多くの危険箇所が指摘



標柱立てをする部員のみなさん

摘されました。特に危険と思われる箇所を重点に標柱作製費用八万四千円で夏休みに16箇所新設しました。

標柱設置により、その場所であ

感謝しておりますが、東側の排水路だけが手つかずで終わりましたので、もう一度、砂取り作業を計画しております。この機関紙「けやき」が皆様に届くころには、実施されていると思っております。次号により皆様に報告致します。今後とも、皆様のご協力をお願い申し上げます。

全が確保されるわけではありませんが、あくまで注意を喚起するものであり、不慮の災害が少しでも回避されれば幸いです。PTAの皆様には、自分の命は自分で守るということを、実践できる子供さんにして頂ければ幸いです。

インディアカ

保健体育部長 荒木 邦雄

毎週土曜日、午後7時から9時まで体育館においてインディアカの練習を、行なっています。お気軽に参加して下さい。電話番号 三三二一五七〇〇 荒木



今年6月に開催されたインディアカ大会

編集後記

今年も、多くのPTA行事がありました。それぞれに暖かいご協力をいただきありがとうございました。来年もよろしく願います。